

JS-RA4016

5MPアナログHD対応
16chデジタルレコーダ

簡易マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、5MPアナログHD対応 16chデジタルレコーダ JS-RA4016の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。

参考: 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承ください。

参考: アナログHDデジタルレコーダを初めてご使用になるか、使い方がよくわからないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせいただき、専門のエンジニアのサポートを受けてください。

参考: 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただききき専門家のサポートを受けてください。

参考: 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。

参考: 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置) の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

本文書は、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

本製品には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方には提供できます。詳しい内容はソフトウェアCDに (OpenSourceGuide*OpenSourceGuide.pdf)または取扱説明書と一緒に提供されるオープンソースガイドを確認してください。

安全上の注意事項

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい一般事項を、警告・注意として説明しています。

警告



- ・ 工事は販売店に依頼する。工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊を防ぐためにも、必ず販売店にご相談ください。
- ・ 異常があるときはすぐに使用をお止めください。煙が出る、臭いがするなどそのまま使用すると火災の原因になります。その場合は直ちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- ・ 異物を入れない。水や金属が内部に入ると火災や感電の原因となります。直ちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- ・ 不安定な場所に置かない。落下などでけがの原因になります。
- ・ 分解しない、改造しない。火災や感電の原因になります。修理や点検は販売店にご相談ください。
- ・ アース（接地）は確実にこなう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。
- ・ 電源コード・プラグを破損するような事はしない。傷ついたり、加工・固定したり、束ねたり・ねじったりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。コードやプラグの修理の相談は販売店にご相談ください。
- ・ 電源プラグのほこり等は定期的にとる。プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。
- ・ コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしない。ブレーカが落ちなくても配線などの発熱による火災の原因になります。
- ・ 予想できない停電による製品の破損を防止するため、UPS (Uninterruptible Power Supply, 無停電電源供給装置)のご利用をお勧めします。関連内容は、UPS代理店でお問い合わせください。

警告

本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のもので、他の製品に使用することはできません。なお、他の製品への転用は保証できません。

注意

- ・ 通風孔をふさがない。内部に熱がこもり、火災や故障、エラーの原因になります。
- ・ 湿気やほこりの多い場所に設置しない。火災や感電、故障の原因になります。
- ・ 振動や強い衝撃を与えない。内部部品の変形などで火災や感電、故障の原因になります。

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5032	交流
	IEC60417, No.5031	直流

取扱について

とくにシステム稼働中は、振動や衝撃を与えないください

デジタルレコーダはハードディスクドライブに録画データを保存しています。ハードディスクはわずか数ミクロンの隙間をディスクが高速で回転しており、システム稼働中に振動や衝撃を与えるとハードディスクが損傷し、デジタルレコーダが起動しなくなったり、録画データが読み出せなくなったりします。（ハードディスクは保証対象外になります）

内蔵ハードディスク、放熱ファンは消耗品です

約30,000時間（この時間は部品の性能を保証するものではありません）を目安に交換されることをお勧めします。交換の際は購入店にご相談ください。

電源について

使用電源はAC100Vです。設置の際は消費電力の大きな機器（コピー機や空調機など）と同じACコンセントからは電源を取らないください。また本体は電源スイッチを“切”にしても電源からは遮断されません。必要に応じて本体と電源を遮断できるように、遮断装置ユニットの設置や、電源コードに容易に手が届くようにするなどしてください。

雑音源を避ける

強い磁界を発生する機器（テレビ、ラジオ、無線機、電動モーターなど）の近くでは、画像の乱れやノイズが発生するおそれがあります。また電灯線や動力線に近づけてケーブルを配線すると、ノイズが入る場合があります。このような時は設置場所やケーブル配線をかえるなどしてください。

お手入れ

安全のため、電源を遮断した状態で乾いた布や、薄めた中性洗剤等を染み込ませ固く絞った布で軽く拭いてください（ベンジン・シンナーは塗装がはげたり変形したりします）。お手入れの際、放熱ファンに物がはさまったり指をつめたりしないよう気をつけ、必要に応じて掃除機等もご利用ください。

ほこりを避け、熱がこもらないように設置する

本体には本体背面と本体右側に強制空冷ファン吹き出し口が設置され、本体の左側に空気取り入れ口が設置されています。設置の際は空気の流れを出来るだけさざぎらないように側面・背面・上面は壁面から5cm以上の間隔をあけるなどして、熱がこもらないようにして下さい。また本体内部の空気を循環させているため、床の上や足元などのほこりのたまりやすいところや、熱がこもるところ、湯気や油の多いところの設置は出来ません。また空気取り入れ口にゴミやほこりが目立ってきた時は掃除機などで取り除いてください。

使用環境について

0～40℃でご利用ください。この範囲を越えると故障や誤作動の原因となります。また、温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますのでご注意ください。

内蔵バックアップ電池について

時計や停電時の動作内容の保存などで内蔵バックアップ電池を利用しており、本体が通電していないときにはこの内蔵電池を利用しています。全く通電を行わない場合は、目安3年程で電池を交換されるか、必要に応じて交換されることをお勧めします。

その他

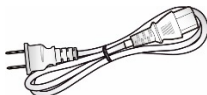
本体の故障、もしくは不都合により録画されなかった場合の補償についてはご容赦ください。

付属品の確認

製品の梱包を開けて、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。



デジタルレコーダ



電源ケーブル



簡易マニュアル



マウス



遠隔プログラム/
製品のマニュアルCD



IRリモコン



保証書



ハードディスク固定用ねじ[※]



SATAケーブル[※]

※購入いただいたDVRのHDD容量によって同梱物の有無及び数量が異なります。

CD-ROMには次の各種取扱説明書（PDFファイル）、ソフトウェア等が収められています。

【取扱説明書】設置運用マニュアル（JS-RA4016_IM-OM_verX.XX.pdf）

【取扱説明書】簡易マニュアル（JS-RA4016_QG_verX.XX.pdf）

【取扱説明書】JSS遠隔監視システム（JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf）

【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム（JSS-RMS）

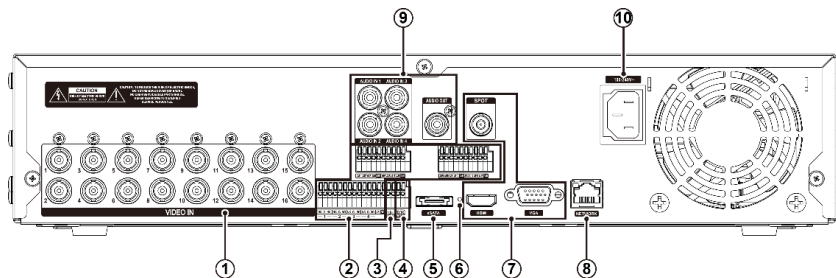
【ドキュメント】Open Source Guide（OpenSourceGuide.pdf）

※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Readerが必要です。

各部分の名称

後面パネル

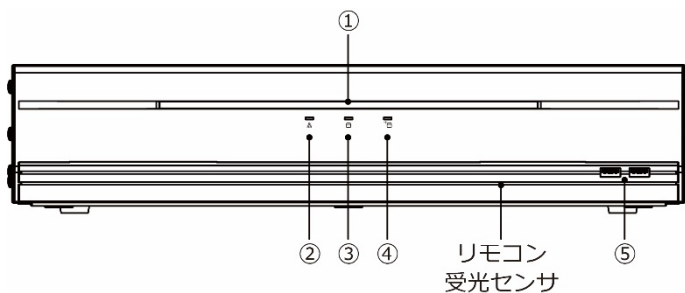
DVRの設置に際し、特別な専用工具は必要ありません。全体のシステムを構成する他の装置については、各装置の設置マニュアルを参照してください。



DVR後面パネル

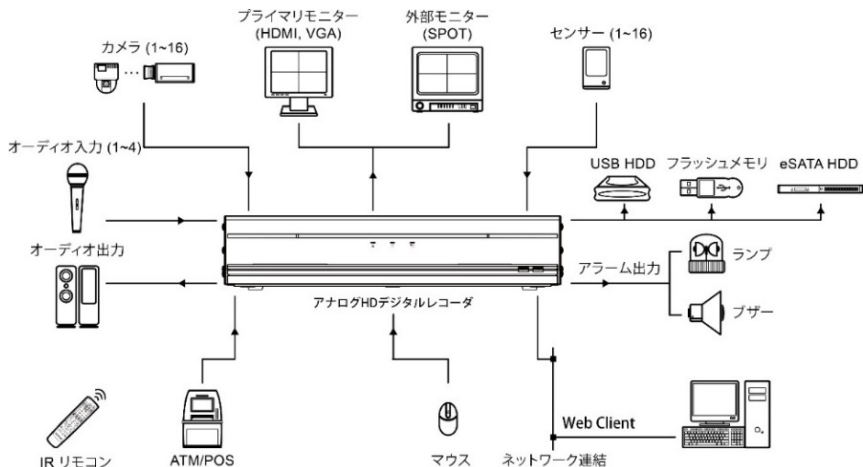
- | | | | |
|-------------|------------------|-------------|------------|
| ① ビデオ入力 | ② アラーム入力/出力 | ③ RS485ポート | ④ RS232ポート |
| ⑤ eSATAポート | ⑥ ファクトリーリセットスイッチ | ⑦ ビデオ出力 | |
| ⑧ ネットワークポート | ⑨ オーディオ入力/出力 | ⑩ 電源コードコネクタ | |

前面パネル



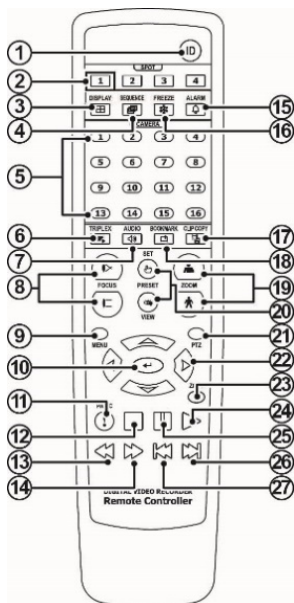
DVR前面パネル

- | | | | | |
|---------|-------------|-----------|------------|---------|
| ① 電源LED | ② ネットワークLED | ③ HDD LED | ④ eSATA ED | ⑤ USB端子 |
|---------|-------------|-----------|------------|---------|



サンプル構成図

リモコン



- ① IDボタン
- ② SPOT モニタボタン
- ③ 画面分割ボタン
- ④ 画面自動切替ボタン
- ⑤ カメラボタン
- ⑥ トリプレックスボタン
- ⑦ オーディオボタン
- ⑧ 近距離/遠距離フォーカス
- ⑨ メニューボタン
- ⑩ エンターボタン
- ⑪ 緊急録画ボタン
- ⑫ 停止ボタン
- ⑬ 逆再生ボタン
- ⑭ 高速再生ボタン
- ⑮ アラームボタン
- ⑯ 一時停止ボタン
- ⑰ クリップコピーボタン
- ⑱ ブックマークボタン
- ⑲ 拡大/縮小ボタン
- ⑳ プリセット保存/読込ボタン
- ㉑ PTZモードボタン
- ㉒ 矢印ボタン
- ㉓ 拡大モードボタン
- ㉔ 再生ボタン
- ㉕ 一時停止ボタン
- ㉖ 次画面ボタン
- ㉗ 前画面ボタン

◀IRリモコン

ログイン

(MENU) ボタンを押すか、マウスのポインタを画面の右側に移動させて、リアルタイム監視メニューから **?** (ログイン) を選ぶと、次のようなログイン画面が表示されます。

ログイン画面

環境設定、検索等、DVRの様々な機能を使用するには使用権限のあるユーザーでログインしてください。ユーザー選択をし、パスワードを入力すると、そのユーザーとしてログインします。パスワードを忘れた場合、右下の **?** ボタンを押すと関連情報が現れます。

初期パスワードのままだと表示されます。

パスワード変更警告画面


パスワードを忘れた場合、ログイン画面で“パスワード探し”をクリックしてください。ユーザーを選択し、E-mailアドレスを入力した後、“認証番号取得”をクリックしてください。



E-mailで届いた認証番号を入力して“決定”をクリックします。

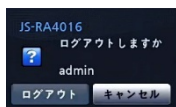
パスワード探し画面

注意：工場出荷時のadminユーザーのパスワードは“1111”です。セキュリティのため通常パスワードを設定してシステムを運営してください。パスワードなしでシステムを使うと警告メッセージが表示されます。

不正使用を防ぐため、工場出荷時のパスワードから必ず変更してください。



参考: リモコンを使用できない場合はマウスの右ボタンを利用してパスワード項目の右側の  ボタンを選択して仮想キーボードを用いてパスワードを入力します。仮想キーボード使用の内容は“メニュー使用法 - 仮想キーボードを用いた文字入力”部分をご参照ください。

参考: システムからログアウトするには、 ボタンを押すか、マウスポインタを画面の右側に移動させて、リアルタイム監視メニューから  (ログアウト) を選びます。



◀ ログアウト画面


メニューの使用法


リアルタイム監視画面で  ボタンを押すか、マウスのポインタを画面の右側に移動させ、リアルタイム監視メニューから  (設定) を選ぶと、設定メニューに入ります。設定メニューに入るためにはメニュー設定権限のあるユーザーでログインしてください。



- ① システム
- ② 録画
- ③ イベント
- ④ ネットワーク
- ⑤ 装置
- ⑥ ディスプレー
- ⑦ 通知
- ⑧ カメラ

設定メニュー画面

メニューのうち一つの項目を選択しようとする場合は、矢印ボタンで該当項目に移動してから  ボタン、またはマウスの左ボタンで該当項目をクリックしてください。


各項目の設定変更後に“保存”を選択して、変更した設定を保存してください。設定画面左下に  (初期化) アイコンが表示される画面でアイコンを選択すると設定値が初期値に戻ります。



“このページ”を選択すると、現在のページ設定値が、“全てのページ”を選択すると設定画面の全てのページ該当する設定値が初期値に戻ります。


仮想キーボードを利用した文字列入力



矢印ボタンを利用して任意の文字に移動して  ボタンを押すか、矢印を合わせてマウスをクリックすると、文字が入力されます。⇧ ボタンは大文字と小文字を設定し、← はカーソルの前の文字を、✖ はカーソルの後の文字を消します。⌨ ボタンはキーボードの配列を変更します。⇧

を選択してから^を入力すると、コントロール文字を入力できます。例えば、^JはNL(New Line)、^MはCR(Carrage Return)として認識されます。これはテキストイン検索設定時に使用されます。

マウスの使用

マウスを使うとより便利に環境設定することができます。望みの項目をクリックして選択するのも早いし、スクロールバーのあるメニューでマウスのホイールを上下に回してメニューを手軽に上下させることもできます。また、 のように数字を増減させる場合にも、マウスのホイールを回すと楽に望みの数字に設定できます。

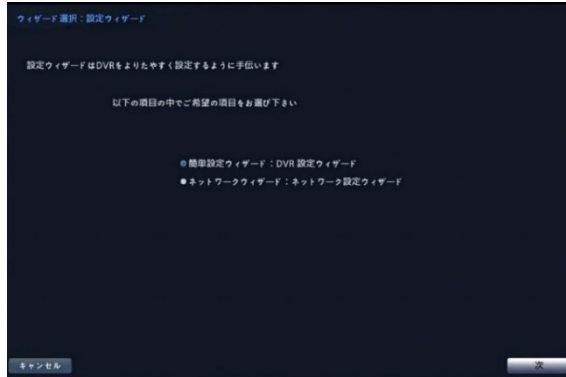
システム設定

ウィザード実行

“システム設定 - 一般”にある“ウィザード”を選択すると、設定ウィザードを通じてシステムの運営に必要な基本設定ができます。

簡単設定ウィザードかネットワークウィザードの中でご希望の設定ウィザードオプションを選択してから、“次”を選択し、その設定ウィザードを始めます。

参考: ウィザード画面の全体で“キャンセル”を選択すると変更された設定をキャンセルし、メイン設定メニュー画面に戻ります。



“次”を選択して簡単設定ウィザードを始めます。



日付/時刻の設定

“日付”を選択すると、矢印ボタンを利用して日付を変更できます。“時刻”を選択すると、矢印ボタンを利用して時刻を変更できます。“日付 - 形式”と時刻 - 形式”を選択すると、日付表示方式と時刻表示方式を変更できます。

“標準時間帯”を選択するとその地域の時間帯を選択できます。以下の地図で前面パネルの左/右矢印ボタンを利用するかマウスホイールを上/下に動かしてご希望の標準時間帯を選択することもできます。

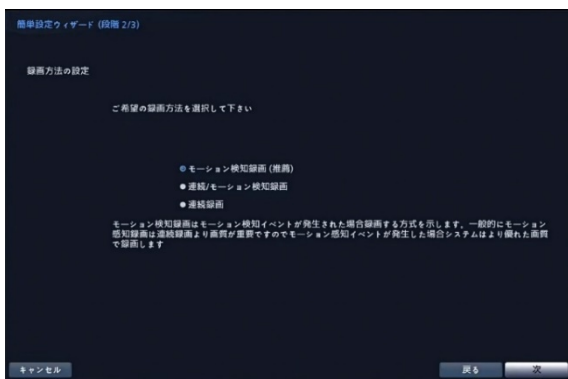
“サマータイム”を選択すると、サマータイム時間制の使用/解除できます。

参考: 変更された日付/時刻の設定値は“次”を選択した後、システムに適用されます。



録画方法の設定

ご希望の“録画方法”を選択します。



録画画質の設定

ご希望の“録画画質”を選択します。

参考: 高画質を選択すればするほどハードディスクで大きい空間を占めます。

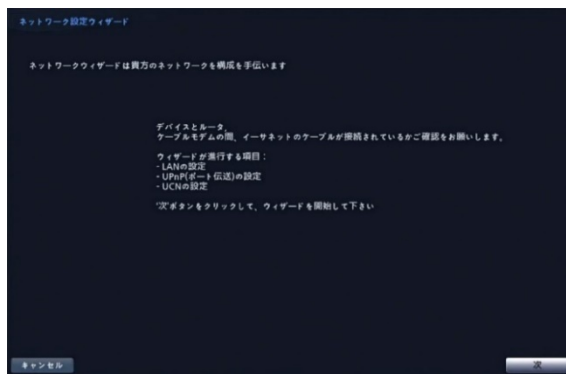
参考: 選択した録画方式及び画質によってチャンネル当たりの録画速度、録画解像度及び画質は以下のようです。

	高画質優先録画	標準録画	長期優先録画
モーション検知録画	30 ips / 最高画質 / 最高	15 ips / 高画質 / 最高	5 ips / 標準画質 / 高解像度
連続/モーション検知録画	連続、モーション: 30 ips / 最高画質 / 最高	連続: 15 ips / 高画質 / 最高 モーション: 30 ips / 最高画質 / 最高	連続: 5 ips / 標準画質 / 高解像度 モーション: 15 ips / 高画質 / 最高
連続録画	30 ips / 最高画質 / 最高	15 ips / 高画質 / 最高	5 ips / 標準画質 / 高解像度

“完了”を選択すると簡単設定ウィザードを完了します。“ネットワーク設定に移動”を選択するとネットワーク設定ウィザードを始めます。

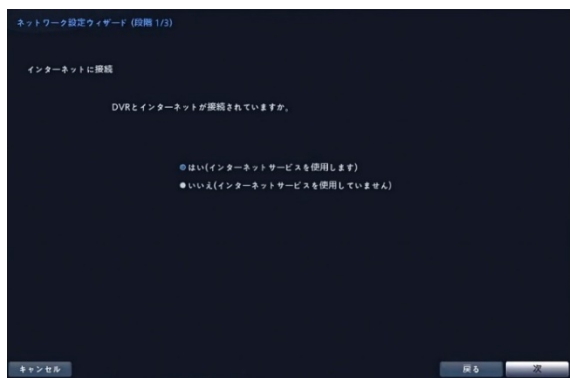


“次”を選択してネットワーク設定ウィザードを始めます。



インターネットに接続

インターネットに接続されているか選択します。



LANの設定

“自動構成”及び“手動構成”の中でご希望のネットワーク構成を選択して“テスト”を選択し、そのネットワーク構成を使用するか確認することができます。

参考: “自動構成”を選択するとIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNSサーバのアドレスなどのLAN設定値を自動に取得します。“手動構成”を選択するとマニュアルでLANのパラメータを設定することができます。

参考: “テスト”を選択し、そのネットワーク構成が使用可能であるか確認していなかった場合、次の設定に移動できる“次”のボタンを押すことができません。



UCNの設定

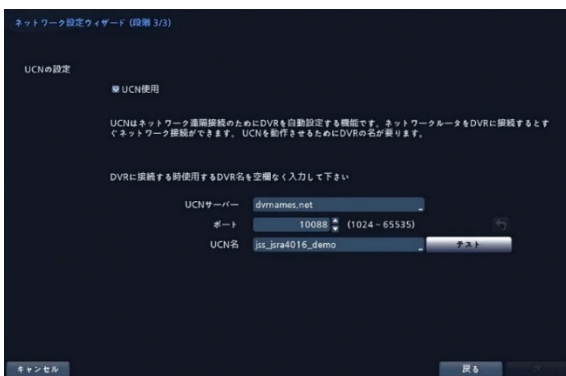
UCNサービスを使用するためには、“UCN使用”を選択してください。

参考: UCNは、インターネット接続を遠隔から把握し、ネットワークを簡単に接続できるよう、DVRを自動設定させる機能です。ネットワークルータをDVRに接続することで、即座にネットワークができます。また、UCNを動作させるため、UCN名（UCNに登録するDVRの名前）が必要です。

“UCN名”を選択してUCNサーバに登録するUCN名を入力後、“確認”を選択して入力したUCN名が使用できるかを確認できます。

参考: “確認”を選択して入力したUCN名を確認しなければUCN設定を保存できません。

参考: 名前を入力しないかUCNサーバ登録済みの名前を入力するとエラーメッセージが表示されます。



ネットワーク設定ウィザード (段階 3/3)

UCNの設定

UCN使用

UCNはネットワーク遠隔接続のためにDVRを自動設定する機能です。ネットワークルータをDVRに接続するとすぐネットワーク接続ができます。UCNを動作させるためにDVRの名が必要です。

DVRに接続する時使用するDVR名を空欄なく入力して下さい

UCNサーバ:

ポート: (1024 - 65535)

UCN名:


“完了”を選択して設定ウィザードを完了します。

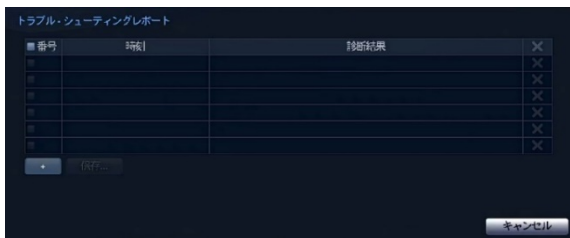


ネットワーク設定ウィザード

ネットワークの設定を完了しました

完了ボタンをクリックすると設定ウィザードを終了します

“トラブルシューティングレポート”部分を選択して  ボタンを押すかマウスをクリックすると、問題のトラブルシューティングのために生成されレポートをエクスポートできます。





“システム終了”を選択すると確認設定画面が表示され、もう一度“システム終了”を選択するとシステムは正常終了します。

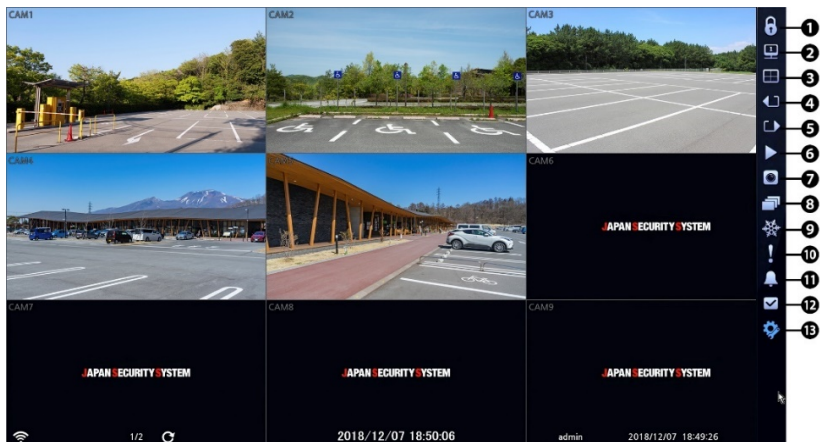


基本機能

リアルタイム監視

DVRが初期化過程を完了すると、直ちに接続されているモニタとスピーカによって監視画面が表示され、オーディオが聞こえます。工場出荷時の基本モードは、全てのカメラを一画面に表示するようになっています。カメラのボタンを押すと、該当カメラの映像を全画面に表示します。

リアルタイム監視モードで  ボタンを押すと、画面の右側に下記のリアルタイム監視メニューが現れます。 ボタンをもう一回押すとメニューが消えます。リモコンの矢印ボタンを利用して、各メニュー及び項目に移動できます。



リアルタイム監視メニュー

- | | | |
|--------------|-----------|----------------|
| ① ログイン/ログアウト | ② モニタ | ③ ディスプレー |
| ④ 前画面グループ | ⑤ 次画面グループ | ⑥ 検索 |
| ⑦ カメラメニュー | ⑧ 自動切替 | ⑨ フリーズ |
| ⑩ 緊急録画 | ⑪ アラーム | ⑫ 状態 ⑬ 設定 |

参考: リアルタイム監視メニューはマウスポインタを画面右側に置いて表示させることもできます。

ステータス情報ウィンドウ

	リモコンが使える場合、このアイコンが表示されます。
	遠隔プログラムでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	双方向オーディオにつながっている場合、このアイコンが表示されます。
	映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	VNCサービスでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。
	HDD録画状態を表示します。上書きの場合、このアイコンが表示されます。 上書きを使用しない場合、残っているHDD容量が%で表示されます。

映像検索

検索モードで(MENU)ボタンを押すと画面の右側に下記の検索メニューが現れます。(MENU)ボタンをもう一度押すとメニューが消えます。リモコンの矢印ボタンを利用して各メニューと項目に移動することができます。



検索メニュー

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| ① ブックマーク | ② ディスプレー | ③ 前画面グループ | ④ 次画面グループ |
| ⑤ 監視 | ⑥ 移動 | ⑦ カメラメニュー | ⑧ 検索 |
| ⑨ 緊急録画 | ⑩ アラーム | ⑪ 保存 | ⑫ 状態 |
| ⑬ データベース | ⑭ 印刷 | | |

参考: 検索メニューはマウスポインタを画面の右側に置いて表示させることもできます。

WEB Client

WEB Clientはインターネット上で別度のプログラムがなくても遠隔地の映像を監視及び検索できるので、一般ブラウザ（インターネットエクスプローラー）を用いて簡単に接続できます。

WEB Clientの行うためには下記の通りPCのシステムの仕様が必要です。

- OS: Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、Professional、Ultimate)、Microsoft® Windows® 10
- CPU: Intel Pentium III (Celeron) 600MHz以上

- RAM: 128MB以上
- VGA: 8MB以上 (1024x768、24bpp以上)
- Internet Explorer: バージョン6.0以上 (32-Bit)

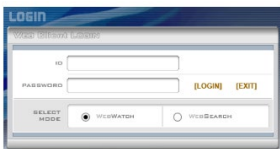
インターネットエクスプローラーを実行してからアドレス入力欄下の情報を入力してください。

- “http://IPアドレス:ポート番号” (DVRシステムIPアドレス及びネットワーク - WEB Client設定から設定したWEB Client接続ポート番号 (デフォルト値: 12088)入力)
- 或いは“http://UCNサーバアドレス/UCN名” (UCNサーバアドレス及びUCNサーバへ登録されたDVR名入力)
- 或いは“http://www.dvronline.net” (ログイン時DVR IPアドレス或いはUCNサーバへ登録したUCN名を入力要求)

参考: 接続するDVRのIPアドレス及びWEB Clientのポート番号はネットワーク管理者へお問い合わせください。

参考: WEB Clientはマイクロソフトインターネットエクスプローラー (Microsoft Internet Explorer) のみ対応しており、他のブラウザには対応していません。

参考: WEB ClientはMicrosoft® Windows® 10のEdgeでは、動作しません。



WEB Clientのログイン画面が出ると“WEBWATCH” (ウェブ監視) または“WEBSEARCH” (ウェブ検索) を選択します。ID及びパスワードを入力して[LOGIN]ボタンをクリックすると選択したモードに接続されます。

“http://www.dvronline.net”を入力して接続する場合は、“DVR ADDRESS”項目へDVRのIPアドレスを入力します。ログインメニューから“Use DVRNS”オプションを選択したらIPアドレスの代わりにUCNサーバへ登録されたUCN名を入力することが可能であり、SETUP設定からUCNサーバのアドレス及びポート番号の入力が求められます。

参考: WEB Clientプログラム運営中にはログイン窓を閉じないでください。ウェブ監視又はウェブ検索モードに切り替える際にはスクリプト (SCRIPT) エラーが発生します。この場合にはWEB Clientプログラムをリスタートする必要があります。

参考: 新しいバージョンのWEB Clientを開く場合、インターネットエクスプローラーで以前のバージョンの情報を読み込むことがあります。その場合には、コントロールパネル → インターネットオプション → 全般に移動してインターネット一時ファイルでファイルの削除をしてから、WEB Clientを行

ってください。

参考: WEB Clientを実行する場合、アドレスバーやステータスバーを表示すると画面の下部部が見えなくなる場合があります。この現象を解決するためにはインターネットの設定を変更し、アドレスバーやステータスバーを表示しないでブラウザを開くことをお勧めします。（“ツール”→“インターネットオプション”→“セキュリティ”→“レベルのカスタマイズ”→“Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する”のオプションを“有効にする”に設定）。

参考: Microsoft® Windows®よりWEB Clientソフトを起動する場合、インターネットエクスプローラーを実行するためにはブラウザのアイコンをマウスで右クリックして表示されるメニューより“管理者として実行”をお選びください。“管理者として実行”を選択しない場合、WEB Clientの一部の機能が制限される恐れがあります。

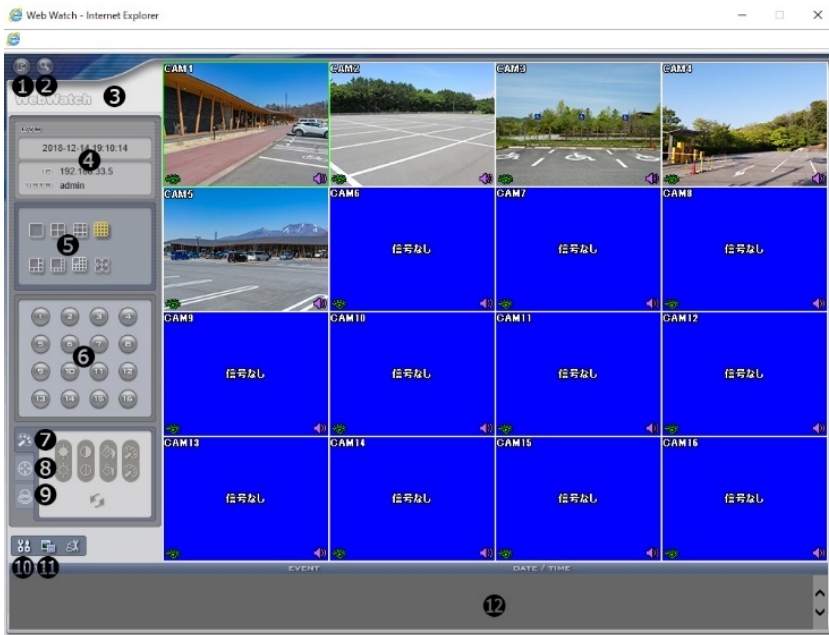
参考: Microsoft® Windows®では映像転送速度の低下によりWEB Clientのスクリーンの画面が表示されなかったり、更新しなかったりする恐れがあります。本症状の場合は、ご使用のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。

管理者権限でコマンドプロンプト実行（“スタート”メニュー→“すべてのプログラム”→“コマンドプロンプト”→マウスの右ボタンを利用し、“管理者として実行”選択）。“netsh int tcp set global autotuninglevel=disable”を入力してからENTERキーを押してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。

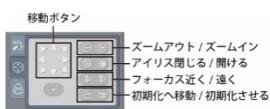
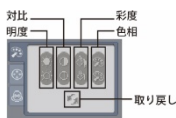
オートチューニング機能を再度復旧するためには管理者権限でコマンドプロンプトを実行してから“netsh int tcp set global autotuninglevel=normal”を入力してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。

ウェブ監視モード

ウェブ監視は遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視のプログラムです。






- ① を押すとWEB Clientのプログラムが終了されます。
- ② を押すとウェブ検索モードに転換されます。
- ③ マウスのポインタをWebWatchのロゴ部分に置くとWEB Clientのバージョンを確認することができます。
- ④ WEB Clientログイン情報を表示します。
- ⑤ ディスプレーモードを選択することができます。カメラの順番を入れ替える事が可能です。
- ⑥ 監視したいカメラを選択します。









- ⑦ を押すと映像の画質を調節することができます。
- ⑧ を押すと遠隔地のPTZカメラを制御することができます。
 - ・ あらかじめPTZ設定がされないと操作できません。
 - ・ アナログHDカメラPF-CA4040、CA4031、CA4041、CA4032は、「アイリス開ける」の


アイコンでカメラOSDメニューに入ることができます。(エンターの代替機能)

- ⑨  を押すと遠隔地のアラーム出力を制御することができます。
- ⑩  を押すとディスプレイモード、OSDの表示、ブザーの出力を設定することができます。ディスプレイモードを選択して映像を出力する速度を調整することが可能であり、OSD表示リストより画面に表示するOSD情報も選択することができます。Beep On及びBeep Offを選択し、遠隔からDVRの内蔵ブザー電源の切替ができます。
- ⑪  を押すと監視映像をグラフィックファイルとして保存します。
- ⑫ イベント状態窓は遠隔地で検知されたイベントリストを表示します。
- ⑬ 画面よりカメラを選択しマウスを右クリックするとポップアップメニューを表示します。



- ・カメラタイトル変更: カメラタイトルを変更することができます。
- ・オーディオオン: 遠隔地とのオーディオの送受信機能を提供します。項目を選択するとオーディオ   × ボタンが表示されます。 ボタンを選択するとマイクを利用して遠隔地に音声を送ることが可能であり、 ボタンを選択するとスピーカから遠隔地のオーディオを再生することが可能であります。 ボタンと  ボタンをすべて選択すると遠隔地と両方向オーディオの送受信が可能になります。× ボタンを選択するとオーディオ送受信が非活性化します。
- ・画面レイト: スクリーン上に見える映像の出力レイトを変更することができます。
- ・マルチストリーム: DVRでリアルタイム監視映像に対してマルチストリームモードが設定されている場合、希望するストリームを選択することができます。
- ・ブロック現象改善: 拡大映像から見られるブロック現象を除去し、画面へ表示する映像の出力品質を向上させることができます。

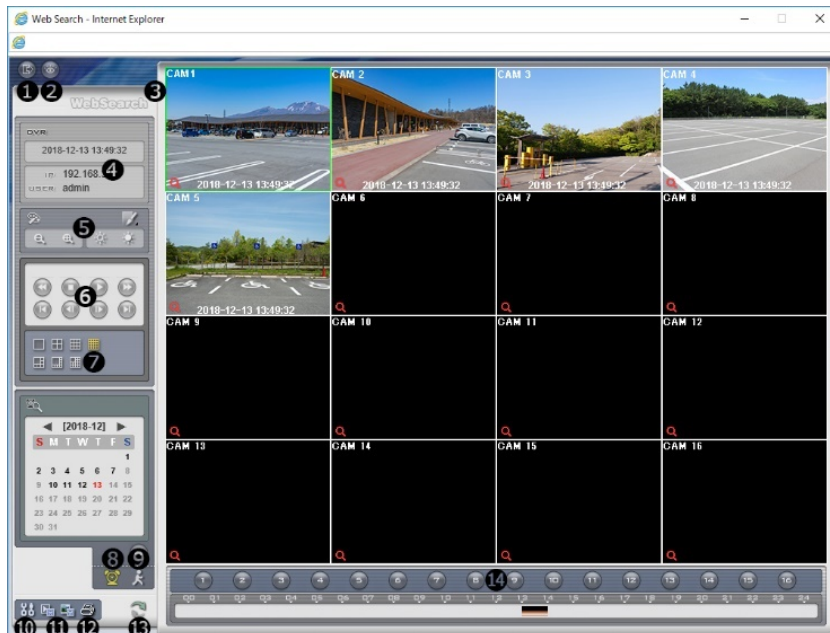
参考: ウェブ監視モードより変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響しません。また、カメラ名を入力しない場合、遠隔地より設定したカメラ名がスクリーン上に表示されます。

参考: 接続したオーディオ制御機能をサポートする場合、当該カメラスクリーンに  アイコンが表示されます。

ウェブ検索モード

ウェブサーチは遠隔地の録画映像を検索することができる遠隔地ウェブ検索プログラムです。

参考: ウェブ検索スクリーンからの遠隔地接続は30分以上操作がない場合、自動解除されます。









- ① [Stop] を押すとWEB Clientのプログラムが終了されます。
- ② [Web Search] を押すとウェブ監視モードに切り替えます。
- ③ マウスポインタをWebSearchのロゴ部分に置けばWEB Clientのバージョンを確認することができます。
- ④ 遠隔地DVRの時間情報及びWEB Clientログイン情報を表示します。
- ⑤ [Search] を押して映像に様々なイメージフィルターを適用します。



[Zoom In] を押して映像を縮小及び拡大します。 [Brightness] を押して映像の明るさを調節します。

参考: 映像調整は一時停止状態でのみ適用されます。



- ⑥ 再生ボタンを押して映像を巻き戻し、一時停止、正倍速、早送り、映像の最初に移動、コマ送り、映像の最後に移動します。
- ⑦ ディスプレーモードを選択することができます。

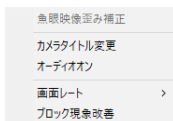
- ⑧  を押してタイムラプス検索モードを用い、録画映像を検索及び再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付単位に構成されカレンダーで検索しようとする日付を選択することができます。タイムテーブルはカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。検索したい時間を選択すると該当の時間帯の映像を画面に表示します。該当の時間帯に一つ以上の映像がある場合には検索するセグメントを選択することができます。 を押して検索する日付及び時間を設定して特定時間帯の映像にすぐ移動することができます。
- ⑨  を押してイベント検索モード用いて使用者が指定した条件を満足するイベントを検索することができます。
- ⑩  を押すとディスプレイモード及びOSD表示を設定することができます。ディスプレイモードを選択して映像を出力するスピードを調整することが可能であり、OSD表示リストより画面に表示するOSD情報を選択することができます。
- ⑪  あるいは  を押して録画映像を静止画像またはJSS-Playerに保存します。

hour	<input type="text"/>
minute	<input type="text"/>
second	<input type="text"/>
[Go To] [Cancel]	

参考: 実行ファイルで保存する時、“プレーヤー”オプションを選択すると保存ファイルのサイズや保存時間を減らすことができます。ファイル再生に必要な専用ビューアプログラムはインターネットエクスプローラーの住所入力欄に下記の情報を入力してダウンロードできます。

- UCNを使用する時: “http://UCNサーバアドレス/UCN名前/ JSS-Player.exe” (UCNサーバアドレス及びUCNサーバに登録されたUCN名前入力)
- UCNを使用しない時: “http://IPアドレス:ポート番号JSS-Player.exe” (DVRシステムIPアドレス及びネットワークWEB Client設定で設定したWEB Client接続ポート番号(基本値: 12088)入力)

- ⑫  を押して現在の映像をパソコンに接続されているプリンタで印刷します。
- ⑬  を押すと遠隔地の録画映像をロードします。
- ⑭ 選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。
- ⑮ 画面よりカメラを選択してマウスを右クリックするとポップアップメニューを表示します。



- カメラタイトル変更: カメラタイトルを変更することができます。
- オーディオオン: 当該映像を保存しながらオーディオも一緒に録音している場合にチェックするとオーディオを出力します。(単一画面再生時に限る)
- 画面レート: スクリーン上に見える映像の出力レートを変更することができます。
- ブロック現象改善: 拡大映像から見られるブロック現象を除去し、画面へ表示する映像の出力品質を向上させることができます。

参考: ウェブ検索モードより変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響しません。また、カメラ名を入力しない場合、遠隔地より設定したカメラ名がスクリーン上に表示されます。

JSS遠隔監視システム

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 10 (64bit) (Home、 Professional)	Microsoft® Windows® XP Home SP3
CPU	Intel Core™ i5-3570K 3.30GHz以上(魚眼映像歪み補正の場合はIntel Core™ i7-3770K 3.40GHz以上)	Intel Core™ 2 Duo E7200 2.53GHz以上
RAM	4GB以上(魚眼映像歪み補正の場合は8GB以上)	1.5GB以上
VGA	ATI Radeon™ HD 7700または NVIDIA GeForce GTX650 以上 (1280x1024(魚眼映像歪み補正の場合1920x1080)、32bpp以上)、マルチモニタ	ATI Radeon™ HD 2400または NVIDIA GeForce FX5500以上 (1024x768、24bpp以上)
HDD	6GB以上の空き容量	1GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	10/100 Mbps Ethernet以上

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Windows スタートメニューのコントロールパネルに移動し、電源オプションでモニター節電機能とハードディスク節電機能を使用しないに設定してください。

- ① ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- ② CDのSetupのフォルダの下にあるsetup.exeファイルを実行します。

参考: Microsoft® Windows® Vistaまたはその上のOSでユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- ③ インストール画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
- ④ プログラムがインストールされる経路を指定した後、次ボタンをクリックします。
- ⑤ 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。

参考: NET FrameworkとVisual C++Runtime Librariesが自動的にインストールされ、インストールする時、時間が少々掛かる場合があります。ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++Runtime Librariesがすでにインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

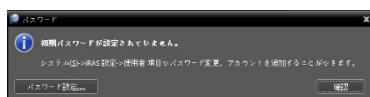
- ⑥ 設置完了画面が表示されたら閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

JSS遠隔監視システムソフトウェアをインストールするとデスクトップに“JSS遠隔監視システム”及び“JSS遠隔監視システム Run as administrator”（管理者IDでの実行）のジャンプアイコンが生成されます。“JSS遠隔監視システム”又は“JSS遠隔監視システム Run as administrator”（管理者IDでの実行）のジャンプアイコンをダブルクリックしてJSS遠隔監視システムプログラムを実行します。JSS遠隔監視システムプログラムが実行中のPCに管理者IDではなく標準ユーザーIDでログインした場合、“JSS遠隔監視システム Run as administrator”（管理者IDでの実行）のジャンプアイコンをダブルクリックしてください。

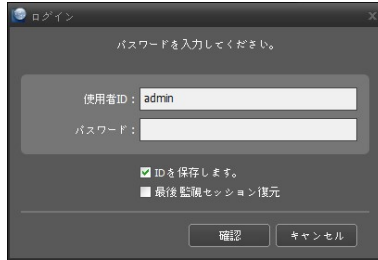
ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、必ずパスワードを指定してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。

- ・ IDを保存します：この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- ・ 最後監視セッション復元：現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。



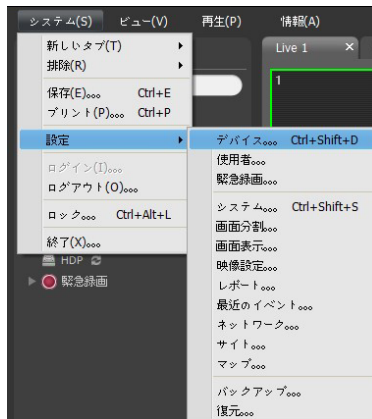
参考: 利用者IDの初期値はadminであり初期パスワードはありません。

参考: ユーザーメニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

デバイスの登録

JSS遠隔監視システムで提供する機能を使用するためには、まずJSS遠隔監視システムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

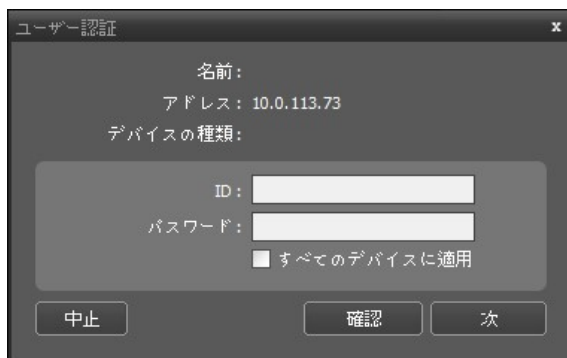
- ① “システムメニュー - JSS遠隔監視システム設定 - デバイス” を選択します。



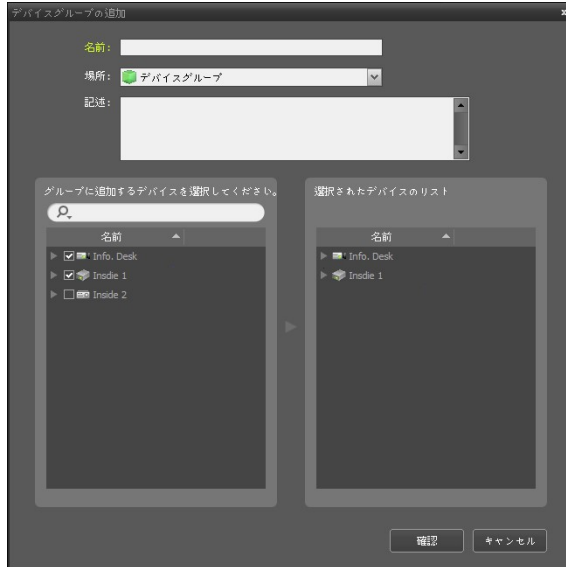
- ② サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- ③ 検索モードを選択した後、検索開始ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- ④ デバイス検索画面の下端のデバイス登録ボタンをクリックします。
- ⑤ ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、確認ボタンを押してください。



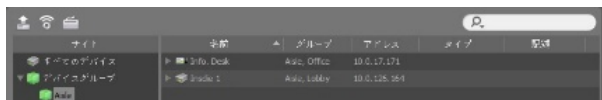
- ⑥ サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、サイトパネルの下端にある**+**ボタンをクリックします。デバイスグループの追加画面が表示されます。



- ・ 名前：デバイスグループの名前を入力します。
- ・ 場所：該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。

左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある選択されたデバイスリスト欄に追加されます。確認ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

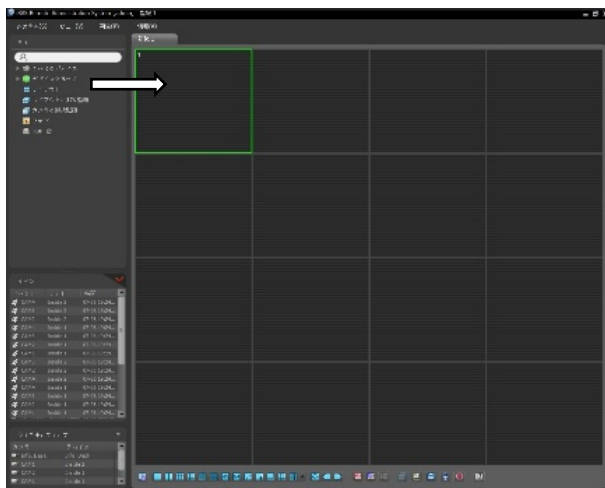
- ⑦ デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。サイトパネルでデバイスグループをクリックした後デバイスグループの左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、サイトパネルの下段にある ボタンをクリックするとデバイスグループ修正画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- ① サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- ② パネルタブで監視タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。




録画された映像の再生

- ① サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- ② パネルタブで再生タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

JSS遠隔監視-モバイル


注意: 本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN (WiFi) を使用することをお勧めします。携帯会社のインターネット (3G、LTE) で接続する場合、課金されることがあります。

アンドロイドのモバイルデバイス

- ① モバイル機器よりAndroid Playストア (Google Play)  アプリケーションを実行してください。
- ② Playストア (Google Play) アプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイルと入力してください。
- ③ JSS遠隔監視-モバイルをインストールしてプログラムを実行してください。
- ④ New Site (遠隔地追加) ボタンをタップしてからデバイス情報を入力してデバイス登録してください。



- General (一般) : JSS遠隔監視-モバイルより使用するデバイス名を入力します。
- Connection Info (接続情報) : UCN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定。



参考: デバイスがUCN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のUCNサーバを運営する場合、初期画面の上段タイトルバーより  (環境設定) を選択してUCNサーバの情報を設定します。(アドレス初期設定値: dvrnames.net/ ポート初期設定値: 10088) 詳細はUCNサーバ管理者にお問い合わせください。

参考: デバイスがUCN機能を使用しない場合、Use UCN (UCN使用) 項目の選択を解除してからアドレス項目にデバイスのIPアドレスを入力します。ポート番号の場合、初期値の使用をお勧めします。

- Accounts (アカウント) : デバイスログインの時に使用する


る使用者ID及びパスワードを入力します。（使用者IDの初期設定値：admin、パスワードの初期設定値は無し）

iOSのモバイルデバイス

- ① モバイル機器よりAppストア  アプリケーションを実行してください。
- ② Appストアアプリケーションの検索欄にJSS遠隔監視-モバイルと入力してください。
- ③ JSS遠隔監視-モバイルをインストールしてプログラムを実行してください。
- ④ タイトルバーの  （新規登録） ボタンを押します。デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。



- General（一般）：JSS遠隔監視-モバイルより使用するデバイス名を入力します。
- Connection Info（接続情報）：UCN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定。

参考：デバイスがUCN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のUCNサーバを運営する場合、初期画面の上段タイトルバーより  （環境設定）を選択してUCNサーバの情報を設定します。（アドレス初期設定値：dvrnames.net/ ポート初期設定値：10088）詳細はUCNサーバ管理者にお問い合わせください。

参考：デバイスがUCN機能を使用しない場合、Use UCN（UCN使用）項目の選択を解除してからアドレス項目にデバイスのIPアドレスを入力します。ポート番号の場合、初期値の使用をお勧めします。

- Accounts（アカウント）：デバイスログインの時に使用する使用者ID及びパスワードを入力します。（使用者IDの初期設定値：admin、パスワードの初期設定値は無し）

製品の仕様

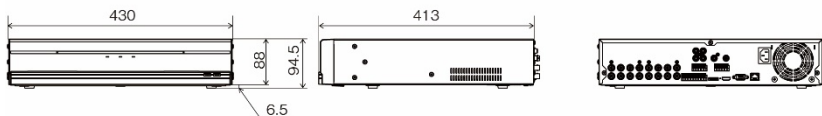
仕様

ビデオ	ビデオ入力	16ch(BNC)/アナログHD(AHD、TVI) 1M、2M、3M、4M、5M、CVBS(NTSC、PAL)
	ビデオ出力	HDMI:×1、VGA:×1、BNC(SPOT):×1
	ディスプレイ解像度	HDMI:3840×2160、1920×1080、1440×900、1280×1024 VGA:1920×1080、1440×900、1280×1024 Composite:720×480(NTSC)、720×576(PAL)
	表示速度	最大480ips
録画	録画解像度	5MP、4MP、3MP、1920×1080、1280×720、960×480、720×480、960×240、720×240、480×240、360×240
	フレームレート	480ips@1080P
	画像圧縮方式	H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、プライベート、パニック
	性能	4ch 1080P 同期再生
	検索モード	タイムラプス、イベントログ、モーション、テキストイン
保存	HDD	内蔵:4TB(標準)/8TB/12TB/24TB(最大)
	バックアップ	USB HDD、USBメモリ
	RAID	—
ネットワーク	クライアント接続ポート	Gigabit Ethernet(Client)×1
	伝送速度	120ips@Full HD
	イベントアラーム	Email(添付ファイル(.cbf、MP4))、コールバック(遠隔ソフトウェア)
オーディオ	オーディオ入力/出力	4RCA/1RCA + 1HDMI
	アラーム入力/出力	16IN/4Realy Out
	アラームリセット入力	1
	シリアルインターフェース	RS232、RS485(Terminal Block)、USB2.0×1、USB3.0×1、eSATA×1
一般	外形寸法	約430(幅)×88(高)×413(奥)mm ※突起物含まず
	質量	約6,000g(HDD1個装着時)
	使用温度範囲	0~40℃(湿度90%未満 ※結露しないこと)
	電源/消費電力	AC 100-240V、50/60Hz、1.2-0.6A、最大76W
	同梱物	本体×1、電源ケーブル、簡易マニュアル×1、マウス×1、遠隔プログラム/製品のマニュアルCD、IRリモコン×1、保証書、ハードディスク固定ねじ/SATAケーブル*

*ご購入いただいたDVRのHDD容量によって同梱物の有無及び数量が異なります。

外形寸法図

単位: mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況(できるだけ詳しく)
- ② 品名と品番(5MPアナログHD対応 16ch デジタルレコーダ【JS-RA4016】)
- ③ お買い上げ年月日(保証書に記入)
- ④ 製造番号(保証書に記入)
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■ 万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

JAPAN SECURITY SYSTEM

Safety and trust keep to the future

株式会社 日本防犯システム

<https://www.js-sys.com/>

〒105-6109 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービルディング9階

TEL : 03-6809-1217

FAX : 03-6809-1701

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-10 第一登茂ビル4階

仙台支店 〒980-6023 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 23階

名古屋支店 〒451-0046 愛知県名古屋市中区牛島町2-5 トミタビル9階

大阪支店 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス5階

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル10階

福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル7階

札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル7階

北関東営業所 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-1-2 明治安田生命大宮ビル5階

高松営業所 〒760-0017 香川県高松市番町1-6-8 高松興銀ビル4階

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。